

ナラハクの“今”をお届けする季刊情報誌

130th
ナラハク

Nara National Museum
News

Vol.

136



奈良博だより

2026
1・2・3月



【特別陳列】

お水取り

【特集】

知られざる

【特別展】

神仏の山
吉野・大峯

—蔵王権現に捧げた祈りと美—

奈良博庭園の
見どころ



庭園公開期間中には、ボランティアガイドによる案内が実施されている日も。より深く奈良博庭園の魅力に触れることができる。実施日は奈良博ウェブサイトでご確認を。



学芸部長
吉澤 悟が推す！



ちょっとマニアな イチオシPOINT その1

この庭園最大の見どころである茶室・八窓庵⑤。ぜひ公開日に訪れ、じっくり見学してほしい。八窓庵を愛してやまない吉澤のおすすめは、腰掛待合③の窓越しの風景。



ちょっとマニアな イチオシPOINT その3

八窓庵の入り口にある中門⑨の六角形の柱は、ナタで削った風合いが活かされている。ちなみに露地門⑥の屋根は杉皮を竹で押さえるだけの「大和葺き」。そんな細部にも風情がある。



ちょっとマニアな イチオシPOINT その2

大分県国東半島にだけ見られる石塔「国東塔」(南北朝時代)⑧。このほか、「般若寺型石灯籠」(江戸時代)①などの石塔が点在する。解説板もあるのでじっくり読んでほしい。



ちょっとマニアな イチオシPOINT その4

庭園の各所に置かれた庭石の中には、古代の礎石(建物の柱などを支える石)がちらほら。これらは奈良博らしい趣ある庭園空間を演出している。



知られざる 奈良博庭園の 見どころ

奈良博の西新館裏手の庭園に、茶室「八窓庵」があることをご存知でしょうか？茶室をはじめ、さまざまな由来を持つ石塔などと自然が織りなす魅力をご紹介します。



風情ある茶室たたずむ奈良博の庭園を味わう

奈良博・西新館のピロティから窓の外を眺めると、そこには庭園が広がっている。その中核をなすのは、「大和三茶室」に数えられた中で唯一奈良に現存している、茶室八窓庵。興福寺の大乗院にあった江戸時代中期の茶室を、奈良博の敷地内へ移したものだ。茶人としても知られる武将古田織部好み(茶道でいう「好み」とは有名茶人の趣向をなぞらえること)の多窓式の茶室である。二〇一三年には、費用の一部にクラウドファンディングによる寄付を使用した改修が行われた。

草書の「心」の字をかたどった「心字池」の水面に映る八窓庵は格別に美しく、春には平安時代の和歌にも詠まれた奈良の桜、ナラノヤエザクラ、薬師寺や氷室神社から寄贈された桜などが順に花をつける。ぜひ庭園公開日に訪れ、ゆったりくつろいでほしい。

庭園の見どころガイド

通常非公開の奈良博庭園は、不定期で公開しています(八窓庵は外観のみ)。詳しい日程や見どころガイドは奈良博ウェブサイトでご確認ください。



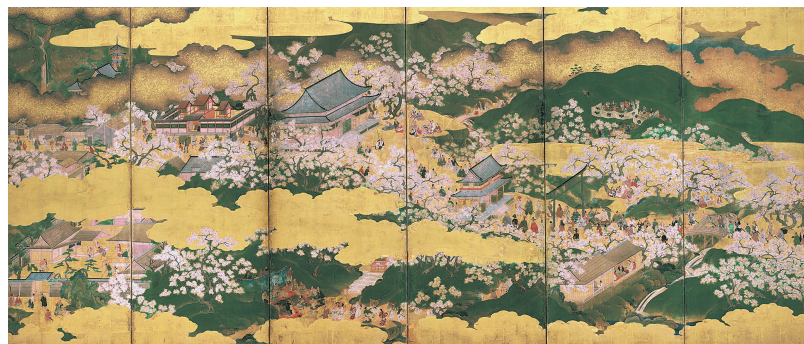
詳細はこちら！

特別展 よしの おおみね 神仏の山 吉野・大峯 ざ おうごんげん 一蔵王権現に捧げた祈りと美一

会期 2026 4.10[金]ー6.7[日] 前期 4.10[金]ー5.10[日] 後期 5.12[火]ー6.7[日]



ざ おうごんげんりょうぞう
蔵王権現立像
平安時代(12世紀)
奈良・大峯山寺



重要文化財
よしの はなみ ず ひょうぶ
吉野花見図屏風(左隻)
桃山時代(16世紀)
京都・細見美術館
※半期展示予定



えんのぎょうじゅ い ぞう に き ざ ぞう
役行者倚像および二鬼坐像
室町時代(15世紀)
奈良・吉水神社

神々や仙人が住まう修験道の聖地、吉野・大峯 その祈りと美に迫る

奈良・吉野から和歌山・熊野へと至る大峯の険しい山々は山岳修行はじまりの地とされ、古人人々は特別な力や悟りを得ようと大自然の中で厳しい行に身を投じてきました。本展では、藤原道長がみづから書写して埋納した国宝・紺紙金字經を修理後初公開するとともに、この地域ならではの宝物を一堂に展観します。

担当研究員が教える
必見
Point!

文化財課
美術工芸室長
山口 隆介



山岳修行の聖地である吉野・大峯に集った人びとは、神仏の守護する険しい山の上にどのような祈りを捧げたのでしょうか。自然と神仏への信仰が一体となって生み出されたこの地域ならではの宝物の魅力をご紹介します。アメリカのロサンゼルスから里帰りする蔵王権現像も必見！



詳細は
こちらから！



重要文化財 仏涅槃図
鎌倉時代(13世紀) 京都・正暦寺

今期の仏像館ニュース
12月23日(火)～3月15日(日)

仏像館第6室では、金峯山寺の金剛力士像の向かいに興福寺伝来の四天王像を4体そろって陳列します。ほかにも大きな仏像から小さな仏像まで珠玉のほとけたちが勢揃い。



【特別公開】修理完成記念 特別公開 興福寺伝来の四天王像 12月23日[火]～3月15日[日]
金峯山寺仁王門 金剛力士立像(～2028年予定)
【名品展】不動明王立像(鎌倉時代(12～13世紀))埼玉・地藏院、仏手(飛鳥時代(7世紀))奈良・新薬師寺、童子形坐像(平安時代(12世紀))当館 (ほか)



仏像館名品展
出陳一覧はこちらから！

今期の新館名品展ニュース
2月7日(土)～3月15日(日)

当館が収蔵・保管する文化財の中から、珠玉の名品を部門ごとに紹介します。2～3月は、「釈迦と涅槃の絵画」、「祈りの残照一仏教伝来のあとさき」等のテーマを設けて展示します。



【絵画】重文 仏涅槃図(鎌倉時代(13世紀))京都・正暦寺 【工芸】銅製銀象嵌梵字宝相華唐草文香炉(朝鮮半島・高麗(14世紀))当館(新収蔵品) 【書跡】画図讀文断簡(奈良～平安時代(8～9世紀))当館(新収蔵品) 【考古】重文 鳳凰文博(飛鳥時代(7世紀))奈良・南法華寺 (ほか)



新館名品展
出陳一覧はこちらから！

特別陳列

お水取り

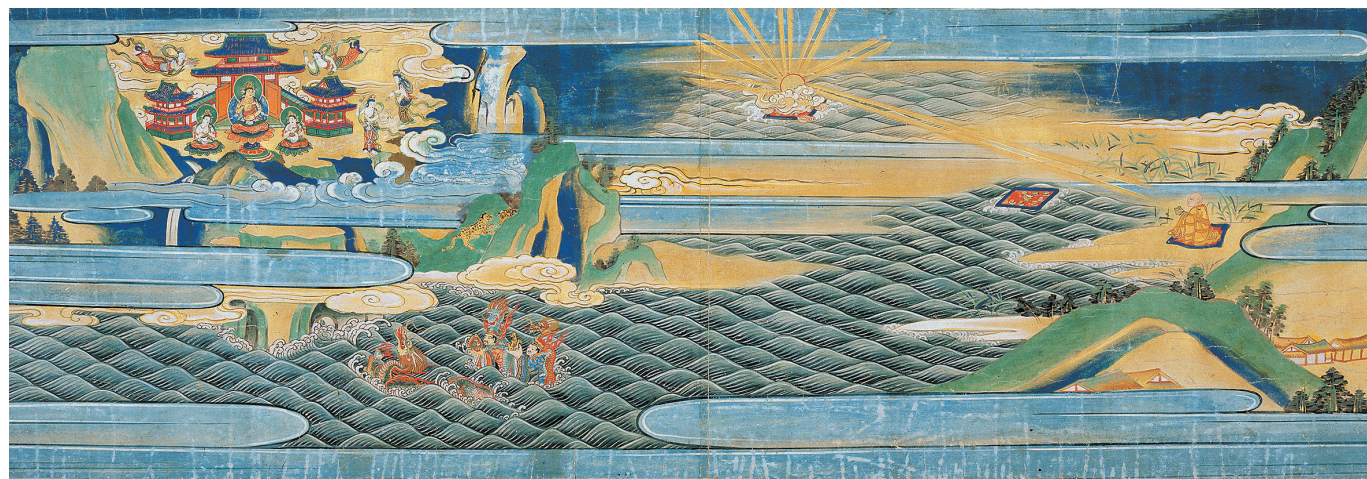
会期 2026 2.7[土]ー3.15[日]



き めんもんおにがわら
鬼面文鬼瓦
奈良時代(8世紀)
奈良・東大寺



重要文化財 香水瓶
上:鎌倉時代(建長5年・1253)
下:鎌倉時代(建長7年・1255)
奈良・東大寺



に がつどうえん ぎ
二月堂縁起 上巻(部分) 室町時代(天文14年・1545) 奈良・東大寺 ※期間中に展示替え予定



重要文化財 金銅鉢
奈良時代(8世紀)
奈良・東大寺

2会場観覧プレゼント 特製「散華」

期間中、奈良国立博物館と東大寺ミュージアムの両会場の展覧会を見学した方には、限定の特製散華を数量限定でプレゼント！江戸時代に二月堂が全焼した際にその焼け跡から発見された『華嚴経』(二月堂焼経)をあしらった新作です。



冬の奈良の風物詩「お水取り」を貴重な出陳物を通して紐解く

火の粉を撒き散らしながら「お松明」が東大寺二月堂の舞台を横切るシーンでよく知られる「お水取り」。毎年3月1日から14日まで行われる法会で、正しくは「修二会」といいます。この法会に参加する11人の僧侶たちは練行衆と呼ばれ、その足もとを照らすお松明が二月堂に上がった後に法要が始まります。その中心となるのが、二月堂本尊十一面観音に対して私たちの過ちを懺悔し、除災招福を祈る「悔過法要」。基本的には非公開で行われます。本展では、修二会で用いられる法具や関連作品を通し、1250年以上続く「不退の行法」の尽きせぬ魅力に迫ります。

担当研究員が教える
必見
Point!

企画課企画室
主任研究員
市川 創



今年の「お水取り」展では、令和のコロナ禍のなかで撮影された修二会のようなすを、写真パネルとしてお示しします。まさに、「不退の行法」。1250年以上続く祈りの姿を、ぜひ皆さまの目で確かめください。



詳細は
こちらから！

「こころ瑠璃めく 正倉院の宴」を終えて

正倉院展をもっと深く楽しんでいたきたい！ そのための特別な企画として、奈良博では登大路ホテルと共同で「こころ瑠璃めく 正倉院の宴 奈良国立博物館 井上館長とたどる宝物の美学」を開催しました。

正倉院展の会期中に三回行われたこのイベントでは、登大路ホテルを会場に、館長と研究員によるトークショーにはじまり、正倉院宝物の瑠璃坏に基づいた再現グラスを使ってシルクロードの香り漂う極上のワインを楽しみ、奈良時代の木簡に記された食を使ったフランス料理のコースを

提供させていただきました。

再現グラスはこの企画のために奈良博が監修し、奈良ガラス工房の川北成彦氏に製作いただいた特別な作品です。宝物の瑠璃坏は西アジアで製作された坏身におそらく百済製とみられる銀の脚部が取り付けられています。製作当初は脚部も一体のガラス製であったという想定のもとに今回は全体をコバルトで発色させたアルカリ石灰ガラスで製作。ガラスに含まれた気泡の入り具合も宝物に寄せたこだわりの逸品です。

また提供料理の食材としては



完成した瑠璃坏再現グラス



器壁に溶接する前のガラスの円環



寸法を計りながら造形している様子

古代の乳製品として知られる蘇^そや古代米、古代から重要な海産物であったアワビやウニを使用し、それぞれの食材に因む万葉集の歌や神話を紹介しました。登大路ホテルに宿泊の後、翌日には早朝の開館時間に合わせ、会場で研究員の解説付きの鑑賞会を開催。大変好評のうちに充実した博物館体験をして頂きました。なお、収益の一部は奈良博の文化財の保護や研究活動に使用されます。

(交流推進室主任研究員

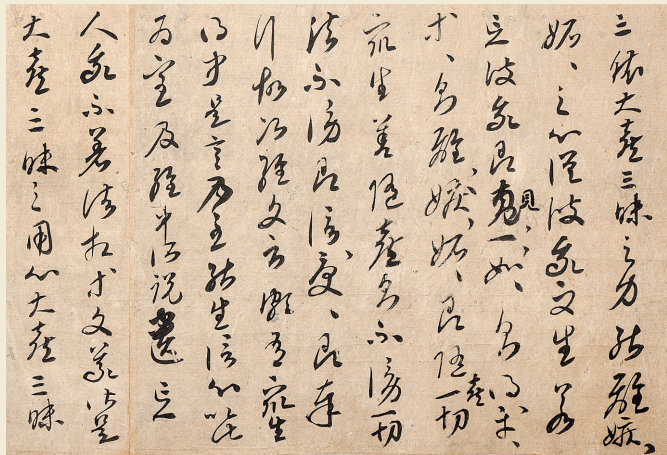
三田 覚之)

NEWS 3

写真展「開館130年記念 三千世界 奈良国立博物館 名品撰 一写真家・六田知弘の眼」

第4期 12月23日(火)～2026年3月29日(日) ※期間は変更する場合があります。

2025年4月より地下回廊で開催している六田知弘氏の写真展も、残すところあと1期となりました。今期のおすすめは、仏教界の偉人、空海による「金剛般若経開題残巻」。あらゆる執着を断つ知恵を説く經典『金剛般若経』を、軽妙な草書によって解説しています。書の名人としても知られる空海の筆致に肉薄する、六田氏渾身の一枚です。



国宝 金剛般若経開題残巻 空海筆 平安時代(9世紀) 写真：六田知弘

写真展の詳細はこちら



サンデートーク

毎月1回、日曜日に当館研究員や専門家がとっておきの話をする恒例の講演会です。美術・歴史に関することから博物館の取り組みに至るまで、ナラハクならではの多彩なテーマが揃います。2025年度中は開館130年にちなんだ様々なテーマでつなぐ《スペシャルサンデートーク》(★印)となります。

1月18日(日)★

「釈迦をめぐる美術と奈良博」
内藤 航(当館資料室研究員[彫刻担当])

2月15日(日)★

「聖なる珠『宝珠』の美術」
三本 周作(当館美術工芸室主任研究員[工芸担当])

3月15日(日)★

「文化財写真と奈良国立博物館—その歴史と『いま』—」
宮崎 幹子(当館文化財課長[情報担当])、
西川 夏永(当館資料室写真技師)
※3月15日(日)のみ定員90名

時間	13:30～15:00(13:00開場)
会場	当館 講堂
定員	各180名※3月15日を除く(事前申込抽選制)
申込方法	要事前申込(ウェブ申込のみ) ※当日申込での参加はできません。
受付期間	当館ウェブサイトの「サンデートーク」から各講座欄をご覧ください。
受講料	無料(展覧会観覧券等の提示は不要)

4月19日(日)

「仏像館の仏像展示130年
—百済観音像から金峯山寺金剛力士像まで—」
岩井 共二(当館教育室長[彫刻担当])

5月17日(日)

「銀の島ジバンギ」
鳥越 俊行(当館保存修復室長[保存担当])

6月21日(日)

「考古作品から読みとる祈りと荘厳」
市川 創(当館企画室主任研究員[考古担当])

《サンデートークは事前申込抽選制です》

サンデートークは、ウェブからの事前申込制です。抽選結果は期日までにお送りいたします。当選者にキャンセルが発生した場合、繰り上げ当選連絡を行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。

イベント

名品展無料観覧日に 仏像館の西側入口を開放します！



明治27年(1894)に完成した、奈良で最初の本格的西洋建築である仏像館(重要文化財 旧帝国奈良博物館本館)。特に玄関まわりの装飾は意匠にすぐれ、130年の時を経た今なお、奈良の景観のなかに美しくたたずんでいます。節分の日(2月3日[火])には、普段は閉鎖している仏像館西側入口を開放します。当日は名品展を無料でご観覧いただけます(西側開放は16時まで。なお、雨天の場合、開放は中止となります)。展示とともに、建物の雰囲気もお楽しみください。



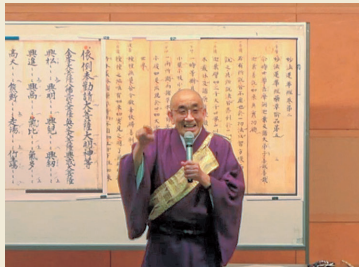
Events

特別陳列 お水取り

2月14日(土)

「東大寺二月堂修二会行事・入門編
～参籠する僧侶の役割～」
講師：狹川 普文 師(東大寺長老・東大寺総合文化センター総長)

時間	13:30～15:00(13:00開場)
会場	当館 講堂
定員	各180名(事前申込抽選制)
申込方法	要事前申込(ウェブ申込のみ) ※当日申込での参加はできません。
受付期間	1月19日(月)10:00～2月2日(月)17:00
受講料	無料(展覧会観覧券等の提示は不要)



狹川 普文 師
(昨年度の公開講座の様子)

予告 吉野・大峯展 公開講座

特別展「神仏の山 吉野・大峯—蔵王権現に捧げた祈りと美—」の会期中、公開講座を開催します(3月より順次申込開始予定)。詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

NEWS 2

ならはく留学生の日 盛況でした！

11月8日(土)に開催したならはく留学生の日「茶道体験&正倉院展観覧」には、アジアや欧米の方々まで、広くご参加いただきました。庭園内にある江戸時代中期に建てられた茶室・八窓庵での茶道体験は大変好評でした。



奈良博公式
Insatagramは
こちらから！



NEWS 1

奈良博公式Instagramアカウントを 開設しました

Instagram

10月1日(水)に、奈良博公式Instagram(@narahaku_pr)を開設しました。展覧会のご案内から敷地内のオススメスポットまで、ときには四季折々の鹿の様子を添えて、奈良博の魅力を発信していきますので、ぜひフォローをお願いいたします。みなさんの投稿にも、ハッシュタグ「#奈良博」をご活用ください。



詳細や
お申し込みは
こちらから！

Sunday Talks

公開講座



詳細や
お申し込みは
こちらから！

Public Lectures

修理完成記念 特別公開 興福寺伝来の四天王像

【会期】2025年12月23日(火)～2026年3月15日(日) 【会場】奈良国立博物館 仏像館 第6室

これからの
展覧会
Upcoming

明治39年(1906)まで興福寺に伝来した四天王像。広目天が興福寺に残るほかは、持国天が滋賀・MIHOMUSEUM、増長天と多聞天が当館所蔵となっています。威厳に満ちた表情は強い印象を与え、劇的な身ぶりや重厚で引き締まった体軀にみぎる充実感は圧巻です。

増長天と多聞天は明治時代の修理から100年あまりが経過し、表面彩色の浮き上がりや過去の修理箇所の変色が目立つ状態にありました。昨年度、バンク・オブ・アメリカの助成を受け剥落止めや古色修整を主とする保存修理を実施しました。

4軀そろっての公開は、平成9年(1997)に当館で開催した特別展「奈良国立博物館の名宝——世紀の軌跡——」以来、じつに28年ぶりです。増長天と多聞天の面目を改めた姿をお披露目するとともに、個性豊かな4軀の共演にもご注目ください。

左：重要文化財 増長天立像 平安～鎌倉時代(12～13世紀) 当館
右：重要文化財 多聞天立像 平安～鎌倉時代(12～13世紀) 当館



会員制度のご案内

■奈良国立博物館賛助会

当館の諸活動を幅広くご支援、ご支持いただける法人・個人を対象に、賛助会制度を設けております。皆様には何とぞ趣旨にご賛同を賜り、ご入会くださいますようお願い申し上げます。令和8年1月1日現在、特別支援会員5団体・個人1名、特別会員9団体、一般会員14団体、個人195名のご入会をいただいております。

【特別支援会員】 団体：(株)読売新聞大阪本社、(株)大和農園ホールディングス、(株)日本香堂、宗教法人地蔵院、(株)葉風泰夢 個人：佐野 謙三様

【特別会員】 (株)奥村組西日本支社、(株)朝日新聞社、(株)ライブアートブックス、結の会、(株)ワールド・ヘリテージ、富士シリシア化学(株)、(株)都市経営戦略研究所、(学)二本松学院

【一般会員】 団体：日本通運(株)関西美術品支店、(株)尾田組、(株)木下家具製作所、(株)天理時報社、(株)きんでん奈良支店、奈良信用金庫、ひかり装飾(株)、(株)南都銀行、小山(株)、奈良県有名専門店会、(株)ゴードー、一般社団法人茶道裏千家 淡交会 奈良支部、西日本旅客鉄道(株) (入会順)
個人：寺島 まゆみ 様、武藤 三幸 様 (令和7年9月ご入会)
伊藤 正人 様 (令和7年10月ご入会)
吉永 緑 様、吉澤 英範 様、加藤 貴章 様 (令和7年11月ご入会)
鬼頭 宏幸 様 (令和7年12月ご入会)

奈良国立博物館賛助会の
詳細や申込は
こちらから！



■キャンパスメンバーズ

「奈良国立博物館キャンパスメンバーズ」とは、国立博物館と大学等との連携を図り、博物館が所蔵する文化財を核として文化や歴史とともに学ぶ場を提供する会員制度です。加入していただいた学校には、次のような特典があります。

特典例

■名品展・特別陳列の無料観覧

学生証または教職員証の提示により、会員期間中は**何度でも**名品展(特別陳列を含む・特別展は除く)を**無料**でご観覧いただけます。

■特別展の観覧料金割引

- ①学生証の提示により、観覧料金が**400円**になります。
 - ②教職員証の提示により、観覧料金が**100円引き**になります。
- ただし、①・②について、別途定める場合がございます。

■研究員による解説付きの 特別鑑賞会の実施(要申込)

※展覧会により実施しない場合があります。

キャンパスメンバーズの
詳細や加入校は
こちらから！



ご利用案内(1月～3月)

■開館時間／午前9時30分～午後5時

※2月3日(火)(節分の日)、3月12日(木)(東大寺二月堂お水取り 龍松明の日)、3月21日(土)、3月28日(土)は午後7時まで。
※2月8日(日)～14日(土)(なら瑠璃絵期間)、3月1日(日)～11日(水)、13日(金)、14日(土)(東大寺二月堂お水取り期間)は午後6時まで。
※入館は閉館の30分前まで。

■休館日／毎週月曜日、1月1日(木)

1月13日(火)、2月24日(火)

※1月12日(月・祝)、2月9日(月)、2月23日(月・祝)、3月2日(月)、3月9日(月)は開館。
※その他、臨時に休館日を変更することがあります。

■無料観覧日(名品展)/2月3日(火)(節分の日)

■観覧料金 名品展・特別陳列・特集展示

	一般	大学生
個人(当日)	700円	350円

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはマイロIDをお持ちの方(介護者1名を含む)は無料。 ※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生及び教職員の方は無料。 ※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される方は子ども1名につき同伴者2名まで一般100円引き、大学生50円引き(親子割引)。

【交通案内】

近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ。

※当館には駐車スペースがございませんので、近隣の駐車場をご利用ください。



奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM

『奈良博だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒を同封して、当館の広報室にお申し込みください。※返信用封筒には宛名を明記し、長形3号の場合は110円切手を、角形2号の場合は140円切手を貼付してください
〒630-8213 奈良市登大路町50番地(奈良公園内) ハローダイヤル 050-5542-8600
ウェブサイト <https://www.narahaku.go.jp/>

奈良国立博物館
公式ウェブサイト

『奈良博だより』
既刊号

